

協立病院だより

No.149
2009年1月1日

発行
京都協立病院
機関紙編集委員会



昨年の時勢を表す漢字は「変」だったそうです。史上最悪の差別的制度後期高齢者医療制度、一国の総理大臣の突然の責任放棄、アメリカのバブル政策のつけが回つての金融危機、そして派遣労働者の首切り。どれも、本当に大切なものの順番を間違えたところに端を発しているように思います。

一方で、薬害C型肝炎の患者さんとその支援の運動がついに国を動かし、アメリカでは、"change"と掲げた史上初の黒人大統領が誕生しました。オバマ氏がどこまで人々の声に寄り添った政策を遂行できるかはこれからを見なければなりませんが、少なくとも彼を当選させた力の中には、「ほんとうに大切なものの尊重を求める声があつたように見えます。本当に大切なもの」「命と暮らし」をまるため、今年も職員一同、奮闘をお誓いします。また、友の会をはじめとする地域の力の再生・充実・発展のための飛躍の年となるよう、対話と共にを進めてまいりたいと存じます。どうか本年もよろしくお願いいたします。



院長 小林 充

本当に大切なものを
守ることが本流になる年に

2009年新春のご挨拶

外来診療体制表

2008年10月1日～

		月	火	水	木	金	土
午前 9時 ～ 12時	内科	宮川	澤田	玉木	加藤	川島淳	！%小林 川島淳
		10時～小林	石橋	小林	小林	高木	*専門外来は下記参照
		10時～谷	小林		玉木		
午後	外科	芦田	川島	川	川島	川	！野口 %川
						川島 (便祕・肛門)	松本 (整形)
皮膚科 (10:30～12:00)						宇谷	
夜 17時 ～ 19時	内科	玉木		澤田		小林	
				小林		！玉木 (一部卒煙外来) 川島淳 (糖尿)	
外 科	皮膚科 (16:00～18:30)	川島		川		野口	
		佐々木/中東 (交替)					
午前 9時～ 12時		玉本	玉本	玉本	玉本	尾崎	！%玉本 今井
午後	小児科	玉本 (ワクチン) 13:30～受付、 14:00～接種		！玉本 (神経) 14:30～15:30 玉本(アレルギー) 14:00～14:30	！佐々相談員 (発達相談) 10:30～16:30	尾崎 (神経) 14:00～15:30 今井(心臓) 14:00～15:30	
		玉本		玉本		！%尾崎 今井 奥原 (腎臓外来兼ねる)	

★受付時間 午前8時30分～12時

午後3時30分～7時 (皮膚科は6時30分まで)

□…予約診療 (下線部は完全予約制)

★体制は変更する場合がありますので御了承ください。

★急患の方はいつでもお越しください。

★電話でも受付できます。詳しくはお気軽にお問い合わせください。

内科専門外来

■腎臓 第4土曜日／偶数月 10:30～12:00 小西医師 予約制
■リウマチ 第4土曜日／年3回 10:45～12:45 中川裕医師 予約制

☎(代表) 42-0440 (小児科直通) 42-0025 (予約専用) 42-0456

病院への案内図



■JR高津駅より徒歩10分 ■駐車場150台

社団法人 京都保健会
京都協立病院

〒623-0045
京都府綾部市高津町三反田1番地
TEL 0773-42-0440
FAX 0773-42-9459
ホームページ
<http://www.kyoto-kyoritu.org/>



ISO 9001 認証取得

『Quick 大腸 Check』 のご案内

当院では簡易に便潜血検査が受けられるシステムを設けてあります。便採取容器を持って帰って頂き、便を採取された容器を当院に持参して頂きます(冬季は郵送も可能)。後日、検査結果を封書にて送らせて頂きます。

料金 500円 (健康友の会員250円)

便潜血 (べんせんけつ) 反応検査とは?
大腸がんでは、大腸粘膜にできたがんに便が接触し出血するため便に血が混じります。便潜血検査はこの出血を見つける検査です。この検査だけでは大腸がんを確定することは出来ませんが精密検査が必要かどうか判断するのに有効な検査です。

**できるだけ痛みなく、安全に、入院期間も
少なくすむよう手術方法を工夫しています**

で治つてしまひます。当院ではすで
に20名ほどの方に治療をしましたが、
治療を受けた皆さんには大変喜んで
いただいています。「30年来の脱肛(イ
ボ痔)が半日で嘘のように消えた」「ま
ったく痛くなかった」「こんなこと

ならもつと早く（この治療を）うければよかったです」など喜びの声を寄せていただいています。この治療は比較的新しく、緩歩市内で入院治療ができるのは当院だけです。痔でお困りの方は、ぜひ京都協立病院便秘肛門科まで相談にきてください。
平成21年が皆様にとつてハッピーであることを祈っています。

H-ib(ヒーブ)ワクチンで
乳幼児を髄膜炎から守りましょう



新年明けましておめでとうござい
ます。本年も宜しくお願ひいたします。
昨年4月より、手術体制を整え、
皆様のご期待に沿えるよう日々、
努力しています。

当科ではできるだけ痛みなく、安全に、入院期間も少なくてすむよう

に手術方法を工夫しています。腹腔鏡手術がその一つです。全身麻酔でおなかにカメラを入れて小さな傷で胆石や大腸癌の手術をします。胆石だと2～3日の入院、大腸癌でも早い方は術後1週間で無理なく退院されます。

また、昨年から痔の新しい治療に取り組んでいます。ジオン注射といいます。この治療は痛みもほとんどなく、脱肛（イボ痔）が日帰り入院

連載No.3 家庭医療紹介

卷之三

医療の現場において、今まで落ち着いていた患者さんに急に不可解な症状がでてきたり、今までよく効いていた治療に急に反応しなくなる、といった場面に遭遇します。

たとえば、働き盛りの糖尿病の患者さんの血糖コントロールが急に悪くなったり、おじいさんに急に認知症のような症状がでてきた、子供の喘息が最近ひどい、などです。

このような時、家庭志向の医師は患者さんの家族や周辺の状況で何かトラブルが発生して、なかに患者さん

モト
今年こそ卒煙にチャレンジしませんか？



タバコを1日20本吸う人の
身体に入るタール1年分です。

A large glass jar filled with dark liquid, likely representing a year's worth of cigarette smoke. Next to it is a pack of Cabin Ultra Mild cigarettes.

タバコの害は吸っている本人だけではなく、周囲に及ぼす影響も大です。喫煙者のいる家庭では、子どもの中耳炎発症が3倍になるという統計もあります。大切な家族のためにも今年はタバコのことを考えなおしてみませんか？

タバコの「ソ」は「あいうえお」(平煙ハンドブック・NPO法人京都禁煙推進研究会編より)
あかるくやめよう・やめるとこうした

外来師長 川原 久美子

「家族志向」とは何でしょうか？家庭医療では、「家族志向型のケア」という概念があり、これは英語でいう Family-Oriented Care の訳で、家族に焦点を当てた、もしくは家族を視野に入れたといった意味を含んでいます。家庭医療に限らず、医療の現場において家族との関わりを抜きに患者とのやりとりを行うことはできません。前述のようなケースを家族志向で考えてみましょう。たとえば糖尿の患者さん、最近奥さんと離婚したために精神的に落ち込んで酒の量が増えたりすれば血糖があがるかもしれません。認知症のおじいちゃんのケースであれば今まで連れ添っていた奥さんが、急に病気をして入院して一人暮らしになつたのかもしれません。あるいは、喘息のお子さんであればえます。

いつものやめよう…軽いタバコや本数を減らすことは意味があるかもしれません。
うまいことをやめよう…「うひとかほん」でもなく、口も身体も動かしません。
えんを結んでやめよう…卒煙外来の利用もひとつの手段。一人でコツコツは続きません。
あきあがつゝ陋しくてやめよう…失敗は成功のもひ。七転び八起きの精神で。
また、卒煙開始にはキッカケも必要です。誕生日、結婚記念日、子どもや孫の誕生、入院や手術などなど。新しい年の始まりも絶好の機会です。ぜひ今年は卒

ご両親の仲が悪くて喧嘩ばかりしていて、それをとめるために症状がでているのかもしれない、といった感じです（これらは全て実際にあつた例です）。

安全・安楽な入院生活を送って頂けることを目指して



煙にチャレンジしてみてください。外来スタッフがやさしく、丁寧にサポートします。詳しくは病院スタッフにおたずねください。最後に、第34号卒煙者四方雲様の奥様嘉代子様が詠まれた一句を。

患者さんに合った環境設定を行います。また、月1回病棟内を見回り、設定通りになつてているか確認をします。その他、ベッドや車いすのストップパーキング確認や、ナースコールは手の届く位置にあるかなどチェックしています。今年度、ベッドから床に足をおろすとナースコールが鳴るセンサーを1台追加して2台になりました。今後、『転倒・転落防止』のご協力とお願い』パンフレットを患者・ご家族様に配布できるよう準備するなど安全・安楽な入院生活を送つて頂ける

当院では、3・4階病棟、リハビリテーション課との連携で「安全チーム」を結成しています。

安全・安楽な入院生活を送って頂けることを目指して

3階 看護師 上田 美香



業務に流されそうになつた時は、
ひと呼吸おいて・・・。患者さんの
思いに寄り添えるよう、今年も「あ
きらめない看護」を目指して行きた
いと思います。

患者さんの訴えや要求に絶えず耳を傾け、あきらめずに働きかけることきな渦の中にいます。私たちの病棟もとつても忙しい！そしてつい「仕事に追われ忙しい！」、「時間がない！」と言ひがちですが、一番不幸なことはすべてが人手不足に起因していると思ひ込み、その落とし穴に落ちこんでしまうこと。そして本質を見失い、思考が深まらなくなることなのかも

患者さんが日々元気になつて、笑顔で退院していく姿を見ると、「看護の仕事って、なんて楽しくて、嬉しい、やりがいがあるんだろう！」と実感する瞬間です。

輝いて! 4階病棟看護実践